



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 クニミネ工業株式会社
 コード番号 5388 URL <http://www.kunimine.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営戦略部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 國峯 保彦
 (氏名) 川島 利昭

TEL 03-3866-7255

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,722	3.2	236	30.6	300	45.0	198	60.9
27年3月期第1四半期	2,637	2.7	181	△16.5	207	△23.3	123	△24.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 132百万円 (△16.1%) 27年3月期第1四半期 158百万円 (△29.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	14.82	—
27年3月期第1四半期	10.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	16,545	13,945	83.0
27年3月期	17,537	14,214	79.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 13,728百万円 27年3月期 14,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 上場市場変更記念配当 15円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,812	7.5	490	15.0	563	8.1	350	11.5	26.14
通期	12,812	6.4	1,543	12.1	1,685	3.7	1,057	5.6	78.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	14,450,000 株	27年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,061,495 株	27年3月期	1,061,495 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	13,388,505 株	27年3月期1Q	12,239,987 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）	P 1
2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 2
4. 四半期連結財務諸表等	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費は実質所得の下げ止まりや株高・原油安により消費者マインドが緩やかに改善しており、設備投資は企業収益の改善を背景に回復していることから、緩やかな回復基調が続きました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、自動車の国内生産台数の減少が続いていますが、土木建築業界は、新設住宅着工戸数に若干の持ち直しが見られ、アグリ事業は、消費税率引き上げによる反動減からの回復があったこと等により、全体としては堅調に推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、これまでの海外展開への取り組みや震災復興需要関連の取り込み、郡山工場と小名浜工場のシナジー効果の発揮を継続して推進するとともに、電力料金の値上げや円安基調に伴う原材料価格の上昇に対して原価の上昇を最小限に抑える取り組みに注力し、売上高および収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、主力のベントナイト事業部門とともに採算性の高いアグリ事業部門や化成品事業部門の増収増益により、売上高は27億22百万円（前年同期比 3.2%増）、営業利益は2億36百万円（同 30.6%増）となりました。経常利益は前年同期にあった為替差損8百万円が為替差益16百万円に転じたこと等により3億円（同 45.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億98百万円（同 60.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

鋳物関係は、円安による原材料費等の上昇に対処するため、輸入原鉱を使用する製品の価格改定を実施したこと等により、乗用車や商用車の国内生産台数の減少を補い、増収となりました。土木建築関係は、新設住宅着工戸数の持ち直しとともにマンション工事等一般民間工事に若干の回復がみられますが地熱向けが低調に推移し減収となりました。ペット関係は、消費税率引き上げ後の反動減からの回復により取扱量が増加し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は20億22百万円（前年同期比 2.2%増）、セグメント利益は2億69百万円（同 10.9%増）となりました。

② アグリ事業

農薬受託加工において、消費税率引き上げによる生産前倒しの反動から回復するとともに、殺虫殺菌剤が好調に推移し増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は4億19百万円（同 2.1%増）、セグメント利益は34百万円（同 415.9%増）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルのうちクニピアが化粧品向けで減少したものの吸着用輸出向けで大幅に増加し増収となり、環境保全処理剤の使用量引き締めによる減収を補い全体として増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2億80百万円（同 12.6%増）、セグメント利益は46百万円（同 153.7%増）となりました。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は堅調に推移しており、主力のベントナイト事業部門において売上が増加しておりますが、円安基調を背景としたエネルギー価格や輸入原鉱価格が上昇し原価を圧迫する等、当社グループを取りまく環境は引き続き厳しいものが継続すると考えられ、前回発表（平成27年5月8日）の業績予想の変更はありません。

3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

② ①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③ 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④ 修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,539,604	4,890,717
受取手形及び売掛金	3,691,254	3,274,811
有価証券	238,376	242,942
商品及び製品	321,265	357,345
仕掛品	213,460	231,004
原材料及び貯蔵品	1,148,207	1,348,989
その他	168,083	102,905
貸倒引当金	△1,701	△1,281
流動資産合計	11,318,551	10,447,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,374,769	1,366,827
機械装置及び運搬具(純額)	1,005,968	948,474
土地	1,780,254	1,780,254
リース資産(純額)	55,970	49,871
その他(純額)	84,701	85,005
有形固定資産合計	4,301,664	4,230,433
無形固定資産	130,126	135,749
投資その他の資産	1,787,450	1,731,690
固定資産合計	6,219,242	6,097,874
資産合計	17,537,794	16,545,309
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,011,449	586,402
短期借入金	—	225,000
未払法人税等	401,798	40,909
賞与引当金	137,004	68,400
その他	695,910	625,956
流動負債合計	2,246,163	1,546,669
固定負債		
退職給付に係る負債	11,736	11,173
閉山費用引当金	490,098	491,389
環境対策引当金	490	490
資産除去債務	23,494	23,494
その他	551,267	526,375
固定負債合計	1,077,087	1,052,924
負債合計	3,323,250	2,599,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,794,107	2,794,107
利益剰余金	9,265,729	9,062,540
自己株式	△253,223	△253,223
株主資本合計	13,424,412	13,221,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464,990	424,837
繰延ヘッジ損益	34,345	6,240
為替換算調整勘定	77,235	75,815
その他の包括利益累計額合計	576,571	506,892
非支配株主持分	213,559	217,599
純資産合計	14,214,543	13,945,715
負債純資産合計	17,537,794	16,545,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,637,953	2,722,524
売上原価	1,840,477	1,850,149
売上総利益	797,476	872,375
販売費及び一般管理費	616,253	635,751
営業利益	181,223	236,623
営業外収益		
受取利息	147	295
受取配当金	34,035	36,582
為替差益	—	16,146
貸倒引当金戻入額	—	419
その他	4,335	12,531
営業外収益合計	38,518	65,976
営業外費用		
支払利息	1,034	736
為替差損	8,786	—
コミットメントフィー	724	729
その他	1,668	261
営業外費用合計	12,212	1,727
経常利益	207,528	300,871
特別利益		
固定資産売却益	149	2,771
特別利益合計	149	2,771
特別損失		
固定資産除却損	767	3,166
特別損失合計	767	3,166
税金等調整前四半期純利益	206,911	300,477
法人税、住民税及び事業税	21,281	43,047
法人税等調整額	58,328	54,316
法人税等合計	79,609	97,363
四半期純利益	127,301	203,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,933	4,647
親会社株主に帰属する四半期純利益	123,368	198,466

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	127,301	203,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,167	△40,153
繰延ヘッジ損益	△4,889	△28,105
為替換算調整勘定	△13,226	△2,027
その他の包括利益合計	31,051	△70,286
四半期包括利益	158,353	132,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,198	128,787
非支配株主に係る四半期包括利益	154	4,039

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
減価償却費	131,302千円	118,297千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,978,087	411,018	248,847	2,637,953	—	2,637,953
セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,851	—	17,122	24,973	(24,973)	—
計	1,985,938	411,018	265,970	2,662,927	(24,973)	2,637,953
セグメント利益	242,971	6,648	18,437	268,057	(86,834)	181,223

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 86,834千円には、セグメント間取引消去 363千円、各報告セグメントに
配分していない全社費用△ 114,544千円及び棚卸資産の調整額 27,346千円が含まれております。全社
費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,022,537	419,796	280,190	2,722,524	—	2,722,524
セグメント間の内部売上 高又は振替高	16,335	—	15,084	31,420	(31,420)	—
計	2,038,873	419,796	295,274	2,753,944	(31,420)	2,722,524
セグメント利益	269,441	34,302	46,767	350,511	(113,887)	236,623

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 113,887千円には、セグメント間取引消去 491千円、各報告セグメント
に配分していない全社費用△ 113,248千円及び棚卸資産の調整額△ 1,130千円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。